

総合的な学習の時間

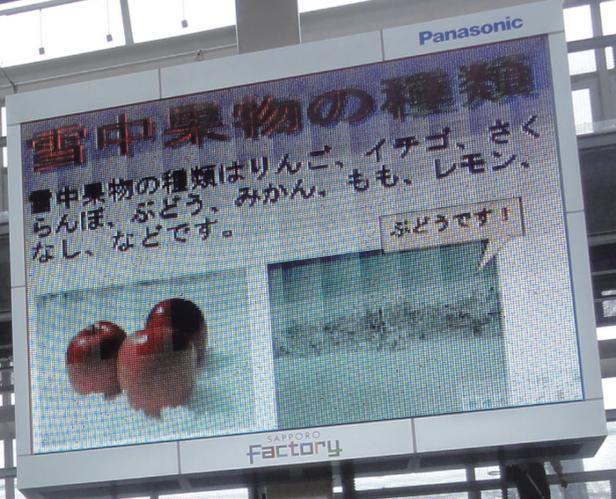
小学校
3～6年生用
テキスト



雪の学習

実践ワーク型テキスト

プレゼンテーション 2



それでは、この
テキストを活用して、
実際に作ってみよう!

書き込み式だから、
ぼくたちも作れそう!



はじめに

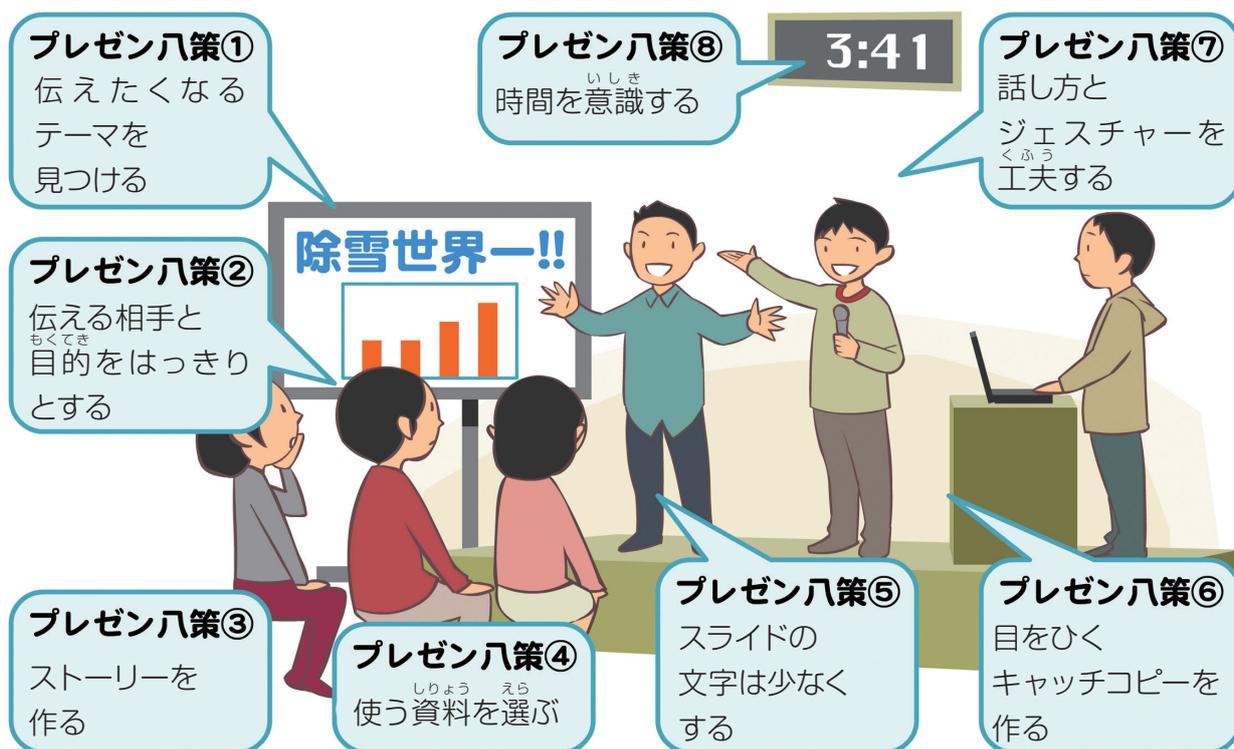
本書は、「雪の学習プレゼンテーション」を行うためのものです。

プレゼンテーションとは、たくさんの人の前で自分や自分たちの考えを発表し、納得してもらったり、喜んでもらったりすることをいいます。調べたことをプレゼンテーションすることは、自分の表現力をきたえることになり、そのために仲間と協力して学習することは、チームワークを深めることにもなります。そのことは社会に将来出た時にきっと役立つ力となるはずです。

テキストに書き込みながら、順に進んでください。このテキストを活用して、みなさんがすてきな「雪の学習プレゼンテーション」を作成することを願っています。

プレゼン八策

プレゼンに必要な心構えです。



雪の学習でプレゼンテーションをつくろう!

札幌市民として、雪について学習することは大切なことですね。しかし、「雪」といっても、雪の何を学習するのか迷ってしまいます。まずは、雪から連想するものを書き出して、学習のテーマを決めましょう。



1 雪から広がるイメージマップをつくろう

「雪」と聞いて、思い浮かぶものはなんですか? あなたのイメージするものをつなげて書き込んでみましょう。

Work!

雪

雪ってなんだろう？



雪のイベントやスポーツは？



雪といっしょに暮らすって？



雪^{りよう}を利用するってなんだろう？



気になったことや調べてみたいことを見つけましょう。

2 テーマを決めよう

イメージマップができれば、その中から一つ、気になったことや調べてみたいことを見つけましょう。

知っていると思うことも、よく考えると知らないことがたくさんあったり、友達と知っていることを話し合ってみると、もっと知りたくなったりすることがたくさん生まれてきます。

浮かんできたキーワードを次の文章に当てはめると、自分のテーマが思いつきやすくなります。

Work!

- のひみつを さぐろう！
- どうやって しているの？
- に ちょうせん しよう！

テーマはいくつか決めて、先生と相談しましょう。そのままでは調べにくいものもあります。見る角度を変えることで、調べることがはっきりします。

知っていることも、調べてみたら、おもしろそうね。

テーマが決まると調べやすいね！



3 調べてみよう

テーマを決めたら、^{じっさい}実際に調べてみましょう。調べる時は、「5W1H」を明らかにすることが大切です。テーマを決めたら、実際に調べてみましょう。

Who … 「だれ」を意味します。あなたが調べたいことにはどんな人が^{かか}関わっているかな？

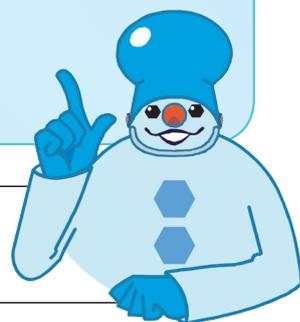
Where … 「どこ」を意味します。あなたが調べたいことに関係する場^{かんけい}所や^{ちいき}地域を見つけてみよう。

What … 「何」を意味します。何という名前か？どんなものなのか？どんなことなのか？を調べてみましょう。

Why … 「なぜ」を意味します。^{ふしぎ}不思議だなと思うことの理由を調べてみよう。

When … 「いつ」を意味します。いつから始まったのか？時間や時代、年代、^{きせつ}季節などいろいろありますね。

How … 「どうやって」を意味します。調べたいことの仕組みや方法、^{ほうほう}過程を調べてみましょう。



(例) 雪まつりの^{ひみつ}秘密をさぐろう

Who

だれが^{せつぞう}雪像をつくっているの？

When

いつからはじまったの？
毎年いつ頃開催するの？

Where

どこで行われるの？
どこから雪を運ぶの？

What

何をつくっているのかな？
道具は何かな？

Why

なぜ、^{じよせつ}除雪の雪を使わ
ないの？なぜ、^と解けないの？

How

どうやってつくるの？
どうやって^{さんか}参加するの？

4 テーマを決めて、調べてみよう

Work!



調べる時は、「5W1H」を明らかにすることが大切です。

テーマ

Who
だれ?

When
いつ?

Where
どこ?

What
なに?

Why
なぜ?

How
どうやって?

どうやって調べたのかな？

調べた本やサイト、
聞いた人を記録して
おくことが大切です。



調べたことを自分の言葉でまとめよう

→

→

→

→

→

→

5 みんなで調べたことを整理して、^{ぶんせき}分析しよう



自分で調べた後は、仲間と交流です。友達の調べたことを聞いて、書き込んで整理します。そうすると、同じようなことや違^{ちが}うこと、大事なポイント

プレゼンの柱

が見えてきます。それらのつながりを見つけることが「分析」です。実際に、線を引いたり、丸で^{かこ}囲んだりして、自分たちが伝えたいこと…「プレゼンの柱」を決めましょう。

Work!



6 プレゼンテーションをつくってみよう

ここまで、みなさんは雪について興味があることを見つけ、自分なりの方法で調べて、“プレゼンの柱”を決めることができました。

それでは、学習のまとめとして伝えたいことを柱にして、スライドを作っていきましょう。

せつめい型（～の仕方）

写真はプレゼンには
必要不可欠だね！
写真だけでもプレゼン
ができるよ！



～の仕方や作り方などは、数枚の写真^{れんぞく}を連続させるだけで、話の流れが簡単に^{かんたん}できます。



雪像ができる前①と制作途中②、完成時③と、取り壊し④の写真^{じゅんび}を準備します。大雪像ができるまでの変化^{へんか}で追うだけで、発表ができます。

「大雪像には骨組みが作られます。」



話の流れを考えながら、わかりやすい言葉^{ことば}で写真の説明^{せつめい}をしていきます。

「2週間ほどかけて大雪像を作ります。」



「これで完成です。」

完成した後も、解けた部分を補修^{ほしゅう}したり、雪払い^{はら}をしたりするそうです。

最後のスライドでは、調べて感じたことを伝えるようにしましょう。

「2週間もかけて彫り上げた雪像は安全のためにすぐに取り壊します。」



「手間暇^{てまひま}かけて作成した大雪像をみなさんもぜひ見に行きましょう。」

クイズ型～○○クイズ～

調べてみると、驚いたことやおどろかしたことがあるはず。そのようなことを伝えるには、「クイズ」が適しています。クイズは問題と解答のスライドで1問にするといいでしょう。

①

雪まつり雪像クイズ

なまえ

何のことをクイズにしているのかを具体的にわかるようにタイトルをつけることが大切です。

「これから雪像についてのクイズを出します。」

②

雪まつりではいくつの雪像が
つくられるでしょうか？

クイズにちなんだ写真を1枚用意して出題すると、わかりやすいですね。調べてわかったことから作ります。

③

A 100基
B 200基
C 300基

数字を問うクイズなどは漠然としていて難しいです。ですから、選択肢を用意すると答えやすくなります。



④

正解 200基

大雪像、大氷像、国際雪像、
市民雪像などをすべて合わせると200を超すそうです。

解答は答えだけをいうのではなく、解説を入れることが大切です。解説を聞くことで学習になるようにします。

クイズの数を増やしていくことで、スライドは増えていきます。しかし、なんでもクイズにするのではなく、「プレゼンの柱」を意識して問題を作り、順番を考えることが大切です。

調査報告型～○○調べ～

高学年になると、調べるのが上手になり、たくさんを知ることができます。そこで、調べたことをしっかりと整理（調べたことの仲間分け）・分析（共通点や相違点をみつける）して、プレゼンテーションにまとめることが大切です。

雪まつりにかかわる人

なまえ

理由) どんな人たちが雪まつりを支えているのかなと考えました。

調べ方) ①雪まつり公式HP

②雪まつり実行委員会電話

③家族への聞き取り調査

何を調べたのかがわかるように具体的にタイトルをつけます。

「私たちは雪まつりにかかわる人がどれくらいいるのかを調べました。」

はじめに調べた理由とどのようにして調べたかを伝えます。そうすることで、発表の信頼性を高めます。



大雪像をつくっているのは…

自衛隊です!

雪輸送・大雪像づくり

夜戦築城訓練なんだって!

調べてわかったことを、図や写真や文字を使って、わかりやすく表現します。短い文章で見てもすぐにわかるようなスライドにします。わかったことは一枚ずつスライドにしていけます。

まとめ

雪まつりを支える人は…雪まつり実行委員、自衛隊、市民ボランティア、国際雪像参加外国人、警察、観光客…

多くの人支えているんだ!

調べてわかったことを発表した後は、必ずまとめのスライドを作り、調べ学習を整理しましょう。調べて感じたことを入れることも大切です。

伝えていく順番も大切です。分かりやすいものから、提示していきましょう。また、調べた全てを伝えるのではなく、選択することも大切です。

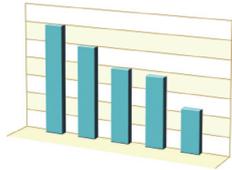
主張・提案型～○○の主張～

自分たちが学んできたことをもとに、自分たちの考えを発信することがプレゼンテーションでは一番大切なことです。調べたことを根拠にして、聞き手に自分たちの主張を伝えてみましょう。

雪まつりがなくなる？

なまえ

さっぽろ雪まつりに参加する市民ボランティアが減少しています！



雪まつりは1950年から60年以上の歴史があります！



さっぽろ雪まつりは札幌の宝です！

・クラスみんなは雪まつりに行ったことありますか？



意外に、行ったことない人が多いわ！

みんなで雪まつりに行こう！

主張・提案型は、見ている人を引き付けるキャッチコピーをタイトルにするのがコツです。



最初に問題を提起します。そして、その根拠を図や写真、資料を使って提示していきます。複数の根拠があるほど、説得力がありますね。

主張や提案をする時は、調べているものの「よさ」や「価値」を再発見し、再確認し伝えることが大切です。

まとめとして、あらためて自分が伝えたいことを主張します。

「札幌の自慢の雪まつりをこれからもずっと大切にしていきたいと思います。そのためには、私たちも参加することだと思います。」

主張する時は、調べたこと（事実）と自分たちが考えたことをしっかりと区別して話すようにしましょう。また、自分たちが実際に体験したことや取材したことには、説得力があります。

7 プレゼンテーションの流れを考えよう



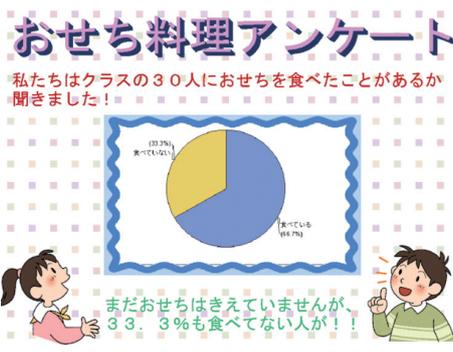
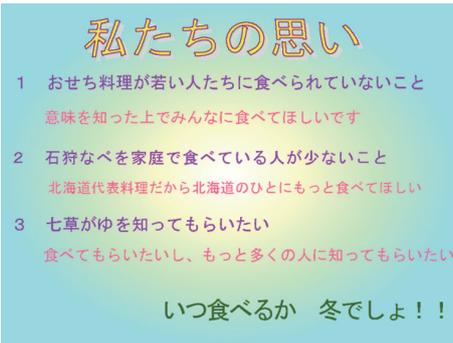
さあ、プレゼンの柱が決まったらいよいよ流れを考えます。前ページまでの例を参考れいさんこうにしながら、流れを考えてみましょう

Work!

スライド	内 容	担 当

(過去のスライドを参考に)

これまでに雪の学習に取り組んでくれた友達が作ったスライドの例です。

スライド	内 容	たん とう 担 当
	<p>←これから、どんなことを発表するのかがわかるタイトルがいいですね。実際に発表する時は、メンバーの名前も掲載しましょう。</p>	
	<p>←資料などを掲載する場合は、(出典)を明らかにしましょう。また、資料から何がわかるかをしっかりと提示しましょう。</p>	
	<p>←自分たちが体験したことを掲載することは、とても大切です。インターネットや図書だけでなく、自分たちでできることにぜひ取り組んでみましょう。</p>	
	<p>←プレゼンの最後は、自分たちの発表のまとめをのせることが大切です。調べてわかったことや、自分たちが考えたことを主張することが大切です。</p>	

8 自分が担当するスライドをつくろう

スライドの流れを決めたら、後は自分が担当するページを作成します。2ページのプレゼンハ策を参考にしながら計画を立てましょう。

(スライド)

えっ!雪まつりは訓練なの?

見ている人を引き付けることがポイント。だれに、プレゼンするかも大切です。

できるだけ文字数は少なくしましょう。文字数が多くても読むことはできません。



写真やグラフなどの資料は大きく、提示しましょう。出典は必ず掲載します。

(出典 札幌市観光ライブラリ)

やせんちくじょうくんれん
自衛隊は「夜戦築城訓練」として、雪像づくりに参加

(セリフ・動作)

・みなさん!この写真を見て下さい!何か気がつくことはありませんか?

(少し、お客さんを見ながら、反応をみる)

プレゼン^{じょうたつ}上達の^{しせん}コツは視線です。お客さん全体に目を配りましょう!

・そうなんです!なんとあの雪まつりの大雪像をつくっているのは自衛隊の人だったんです!

(耳に手をかきしながら)

ジャスチャーもたいせつな伝える表現方法です!

セリフは話し言葉で書いてかまいません。

・え?どうしてかって?そうなんです。ぼくたちもそう思って、調べてみました!

ソフトによってはアニメーションを入れることもできるんだ!

セリフはしっかりと覚えなきゃだめだな!



スライドシート計画書

Work!

(名前) _____

(スライド)

(セリフ・動作)

9 チーム同士でプレゼンを評価しよう



プレゼンが完成したら、チーム同士で発表し合い、お互いに評価することが大切です。

審査チーム				
①テーマ	②資料	③発表	④スライド	⑤構成
何のためのプレゼンなのか 明確である。	資料や調査結果を効果的に活用している。	相手を意識して話す。身振り手振りでわかりやすく話す。	文字量が少なく、端的で効果的な映像である。	全体の展開、構成がわかりやすい。
5	5	5	5	5
4	4	4	4	4
3	3	3	3	3
2	2	2	2	2
1	1	1	1	1
感想				とくてん 得点
審査員名				

プレゼンテーション活動は、学習のまとめとしてさまざまな場面で役立ちます。他の教科でも取り組んでみましょう。また、雪のプレゼンテーション・コンテスト「雪と暮らすおはなし発表会」が毎年3月に札幌市雪対策室の主催で開催されています（表紙写真）。ぜひ、参加しましょう。

10 雪にはたくさん学ぶことがあるんだよ

これまでの説明で、だれでも「雪の学習プレゼンテーション」に取り組むことができるはず。はじめはテーマを決めたり、調べたりすることが大変かもしれませんが、そんな時は、このホームページを活用しましょう！

雪の結晶の種類や観察の仕方がわかるよ！

雪による被害を知ること大切！

雪の中にある生き物を調べられる！

わからないことがあったら、雪の先生に質問ができます！

雪に関する英語の学習ができるよ！

雪を生かした遊びやスポーツなどを調べられるよ！

雪の中での暮らし方の工夫がたくさん！

雪を生かした大きな取り組みを紹介！

雪に関する他のHPに行くことができるんだよ！

雪についてのクイズがたくさんあります！

雪たんけん館 (<http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/>)

雪には学ぶことがたくさんあります。毎年見ている雪ですが、ちょっと見方を変えるだけで、わからないことが見えてくるはず。

北海道では長い歴史の中で、厳しい雪とたたかってきました。それは勝つためのたたかいではなく、共に生きるためのたたかいだったのです。そのためのたくさんの知識が「雪の学習」です。みんなが雪について学ぶことで、未来の札幌市を作っていきます。ぜひ、雪の学習で学んだことを、たくさんの人に伝えてください。



写真提供…札幌市観光ライブラリ・北海道農政事務所 他

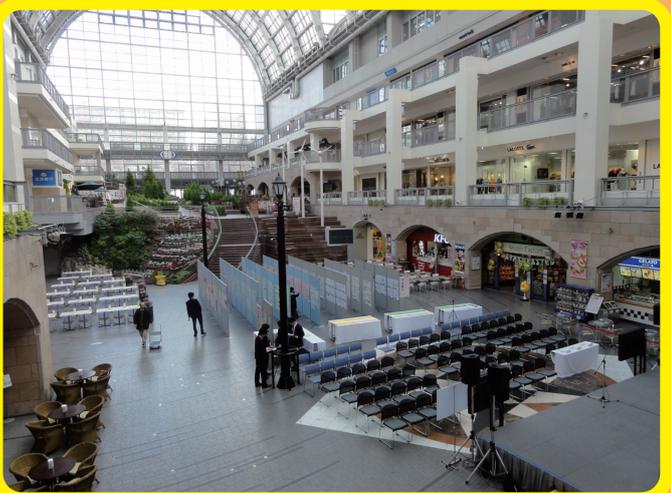
北海道雪プロジェクト 「雪のテキスト・シリーズ6」

2013年12月1日発行

教育現場で児童・生徒用にコピーしてご利用ください。それ以外の目的での無断転載・複製はできません。

企画・制作：朝倉一民 北海道雪プロジェクト

連絡先：北海道教育大学札幌キャンパス内・北海道雪プロジェクト事務局（高橋）



年 組

小学校

名前